

ドキュメント「医療の現場から」

みやざき外科・ヘルニアクリニック
 (北海道札幌市)
 院長 宮崎 恭介 先生

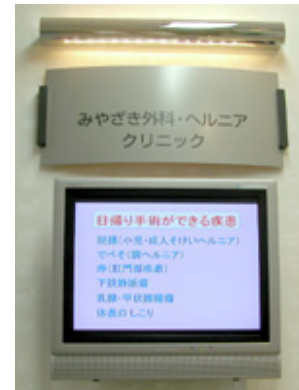
「短い出会い」



日帰り手術のスペシャリストとして、アットホームな外科クリニックをつくりたいと、この4月、北海道で初めてそ径ヘルニアを中心とした日帰り手術専門のクリニックを立ち上げました。手先が器用でプラモデルが得意だった少年時代、外科医となつてから抱いてきた夢は着々と実現に向かっていきます。

順調に手術件数が増え、目標としたほぼ1日1件に近づいてきました。7月、両親に付き添われて来院したのは3歳の両側そ径ヘルニアのお嬢さん、次の来院がもう手術当日です。患者さんとの関係は、術前、手術、術後とわずか3～4回が全てです。短時間で信頼を得て、くつろいで手術を受けていただけるよう、得意の写真も交えながら、たっぷり時間をかけて繰り返し説明をします。

術式はもちろん、術後どういう経過をたどり、どのような傷の状態になって治っていくのか…。実はこのお嬢さんのお父さんは耳鼻科の先生で、ご自身も子供時代にそ径ヘルニア手術の経験があるので、人一倍熱心に耳を傾けます。そ径ヘルニアは2歳前後と高齢者にピークがありますから、ごく典型的な手術でした。そして手術当日、いつもと違っていたのは、お父さんが手術室で立ち会われたことです。



「これがヘルニアです。これを縛って穴を閉鎖します…」。すぐ隣の回復室で、お母さんがそわそわと落ち着かないのもわずか30分余りのこと、手術は無事終了です。とはいえ、お母さん、お父さん、そして自分も汗びしょりです。麻酔の覚めないお嬢さんは両親と川の字になり、そのまま親子は回復室でこんこんと眠りに落ちました。この日は、自分も思わず横になりたいほどの心地よい疲労感を味わいました。2時間余り経って、麻酔が切れたお嬢さんがグズったのも束の間、3人仲良くクリニックを後にしました。子供も大人も、90歳を過ぎた人も、手術を受けた患者さんは皆スタスタと歩いて日常の生活に戻っていきます。この短さが信頼を支えています。

Copyright (c) 2003 So-netM3,Inc. All rights reserved.

ここに記載するコンテンツの内容については全てのケースにあてはまるものではなく、その完全性・正確性・有用性・特定目的への適合性等についてソネット・エムスリー株式会社がいかなる保証を行うものではありません。また、ユーザーがコンテンツの情報をを用いて行う一切の行為について、ソネット・エムスリー株式会社がいかなる責任を負うものではありません。